



掛川市歴史的風致維持向上計画(概要版)

～歴史・文化・伝統を地域の誇りとして次代に繋ぐ～

計画期間 平成29年度(2017)から平成38年度(2026)

歴史まちづくり法とは

日本各地には、城や神社などの歴史上価値の高い建造物とその周辺における町家などの歴史的な建造物が残されており、そこで伝統的な祭礼行事や産業など、歴史や伝統を反映した人々の生活が営まれることにより、地域固有の風情、情緒、たずまいを醸し出しています。

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(通称「歴史まちづくり法」)は、このような良好な市街地の環境(歴史的風致)を維持・向上させ、後世に継承するために、平成20年11月4日に施行されました。

歴史的風致とは

「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」(法第1条)

江戸時代(天保年間)に描かれた事任八幡宮例大祭の神輿渡御絵巻

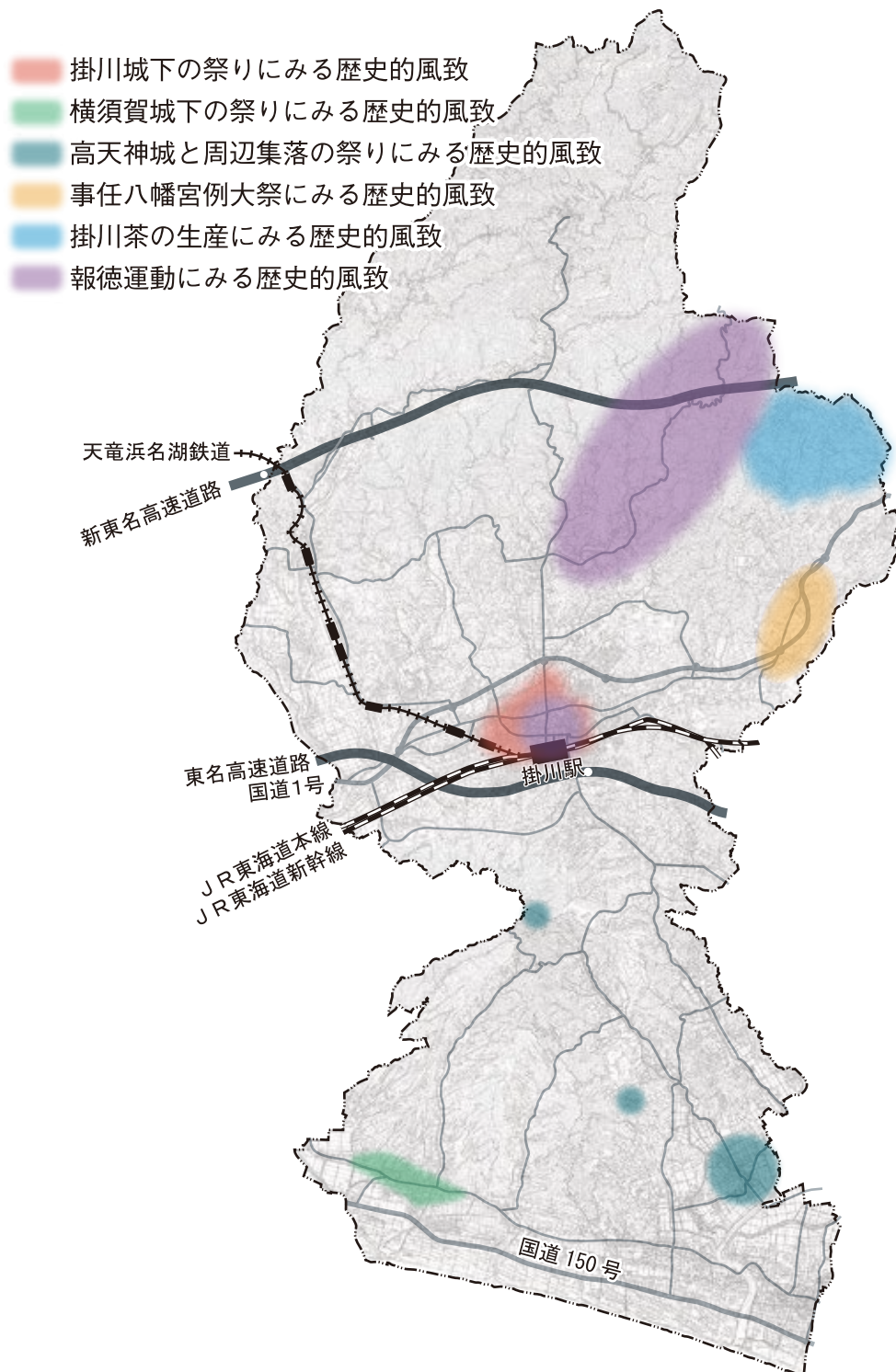


掛川市の維持向上すべき歴史的風致

本市は、戦国時代に掛川城、高天神城及び横須賀城の3つの城が築かれ、江戸時代になると掛川城下及び横須賀城下では城下町が形成されました。東海道沿いには掛川、日坂の2つの宿場町が栄え、交通・文化の中心地として発展しました。市内には当時の面影を残す歴史的建造物と、祭りなどが残されています。

明治維新前後には、倉真の岡田佐平治おかださへいじと長男の良一郎りょういちろうが、掛川藩の復興事業として精力的に報徳運動を展開し、今も市民に受け継がれています。また、本市は古くから茶産地として有名で、平成25年(2013)には、伝統的な農法「静岡の茶草場農法」ちやぐさばが世界農業遺産に認定されました。

このような歴史的建造物と市民の織りなす伝統的な活動が一体となって、本市固有の歴史的風致が形成されています。



掛川城下の祭りにみる歴史的風致

掛川祭は、7つの神社の氏子が参加する合同祭礼で、中でも龍尾神社、神明宮、利神社の祭礼は、江戸時代から続いている。3年に一度の大祭のときには、瓦町の「かんからまち」などの三大余興が登場する。

掛川城御殿などの城下町・宿場町の歴史を伝える街並みと屋台、手踊り、獅子舞などが一体となって、良好な歴史的風致が形成されている。



横須賀城下の祭りにみる歴史的風致

横須賀城の城下町だった横須賀街道には、由緒ある神社や風情ある建造物が建ち並んでいる。

横須賀城主がこの地にもたらした江戸の祭り文化は、江戸時代から連続と継承され、今日の三熊野神社大祭に至る。横須賀街道と祭り好きの「ねりきち」と呼ばれる人々によって、良好な歴史的風致が形成されている。



高天神城と周辺集落の祭りにみる歴史的風致

土方・中地区には、高天神城跡と6つの砦、城を守護する神社などが残り、祭りを通して郷土の歴史と伝統が伝えられている。

春に高天神社例大祭、秋に小笠神社の矢矧祭と八坂神社の祇園祭が行われ、周辺集落の人々の活動によって良好な歴史的風致が形成されている。



事任八幡宮例大祭にみる歴史的風致

日坂・八坂地区では、事任八幡宮のほか、旧東海道日坂宿の旅籠などが建ち並ぶ中、江戸時代から事任八幡宮例大祭が行われている。軒花で彩られた風情ある街並みの中、絵巻に残る神輿渡御などの伝統的なしきたりが引き継がれ、この地に良好な歴史的風致が形成されている。



掛川茶の生産にみる歴史的風致

本市は、国内屈指の茶産地として知られ、特に東山地区とその周辺では、栗ヶ岳の「茶文字」のもと、丘陵地を利用した茶畑と明治期から残る農家住宅がモザイク状に点在している。茶への感謝と、伝統的な農法が脈々と受け継がれ、自然と共存した良好な歴史的風致が形成されている。



報徳運動にみる歴史的風致

本市の報徳運動は、江戸時代末期から始まり、大日本報徳社大講堂で長年続けられている常会によって市内に広がり、現在のまちづくりにつながっている。至誠・勤労・分度・推譲の教えが市民に根付き、地域のための活動により、良好な歴史的風致が形成されている。



歴史的風致の維持向上に関する方針

【歴史的建造物】に関する方針

- 未指定の歴史的建造物の保存と活用
- 所有者や管理者の負担軽減

【城跡】に関する方針

- 計画に基づく国指定史跡の保全、環境整備
- 関連遺跡の保存と活用

【歴史や伝統を反映した活動】に関する方針

- 伝統芸能などの継承活動の支援、情報発信
- 市民が一体となった茶産業の維持継承
- 報徳運動への関心の深化

【歴史的建造物の周辺環境】に関する方針

- 建築物や屋外広告物などの規制誘導
- 建造物などの外観修景、除却
- 周辺の景観に調和した公共空間の整備

【歴史文化資産に係る情報発信や周遊性】に関する方針

- 歴史文化資産の整理、積極的な情報発信
- 歴史文化を活かしたまちづくり活動の発展
- 歴史文化資産の周遊環境の向上
- 掛川城周辺の施設の連結、環境の整備

歴史的風致形成建造物

重点区域内において歴史的風致の維持向上のために保存を図る必要がある建造物を、所有者の同意を得て、「歴史的風致形成建造物」として指定します。

▼歴史的風致形成建造物の指定候補（一部）



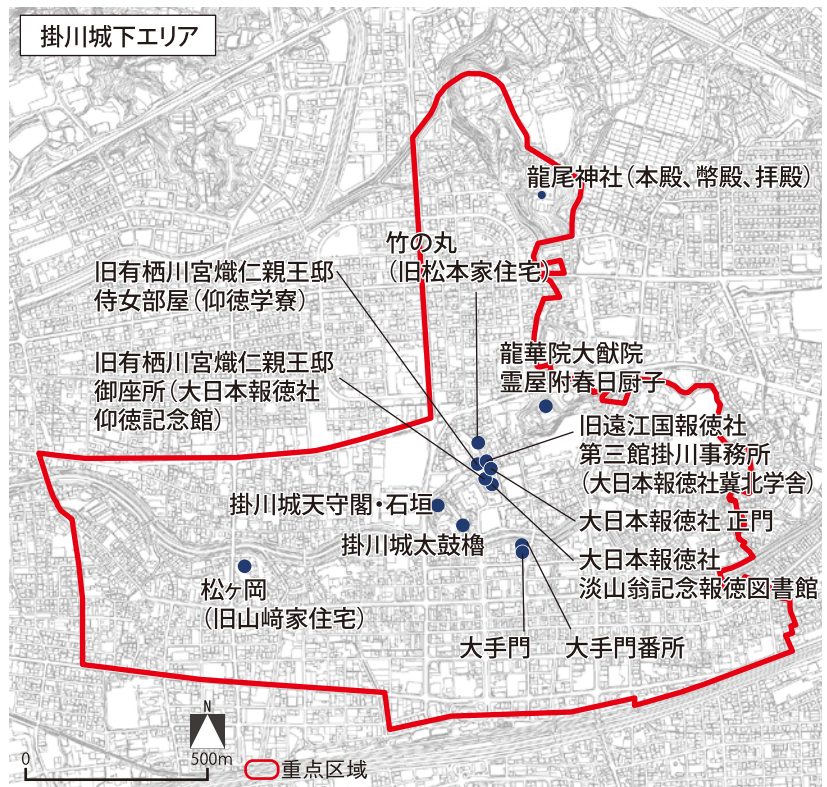
掛川城天守閣



松ヶ岡(旧山崎家住宅)



清水家住宅



歴史的風致の維持向上のための事業

歴史的風致の維持向上のために、重点区域内で歴史的建造物やその周辺の整備など、様々な事業を実施するとともに、市内全域でも歴史・文化・伝統を地域の誇りとして次代に繋ぐ取組を推進します。

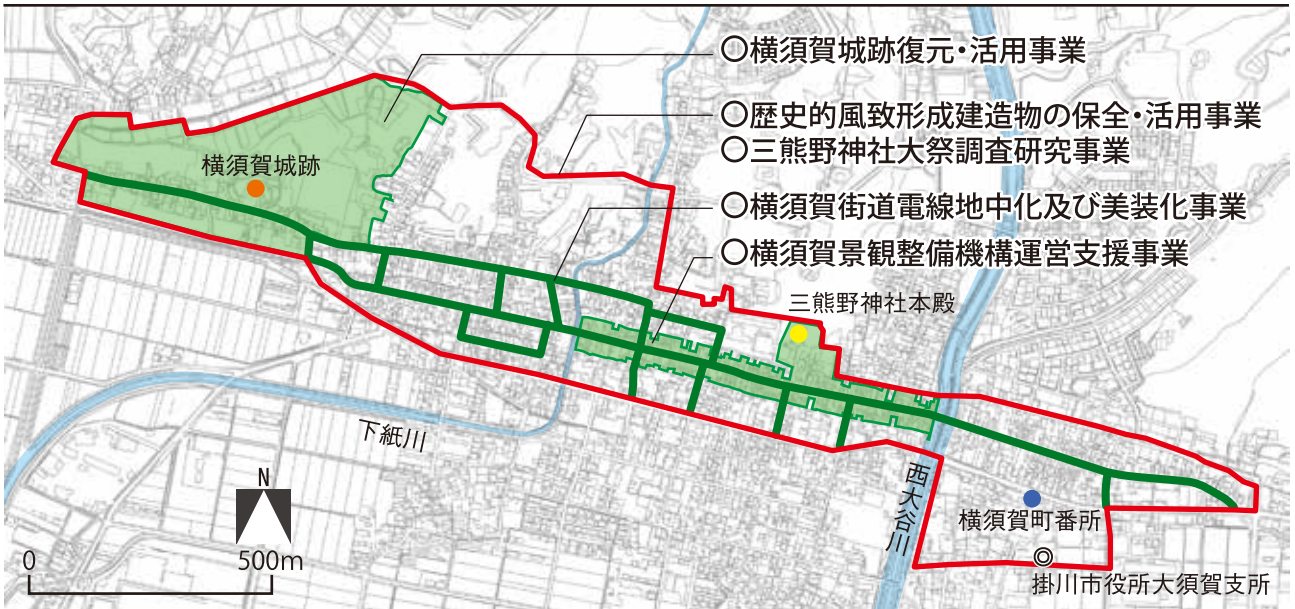
重点区域「掛川城下地区」約169ha

● 事業位置 ● 重点区域 ● 国指定文化財 ● 県指定文化財 ● 市指定文化財



重点区域「横須賀城下地区」約74ha

● 事業位置 ● 重点区域 ● 国指定文化財 ● 県指定文化財 ● 市指定文化財



市内全域

- 歴史的街並み調査事業
- 郷土芸能・伝統行事伝承事業
- 茶手揉み技術伝承事業
- 重要文化的景観の調査研究事業
- 高天神城跡復元・活用事業
- 祭典伝承PR事業
- 掛川茶マイスター認定制度推進事業
- 高天神城六岩「中村砦」保存・活用事業
- 葛布産業振興支援事業
- など

掛川の歴史まちづくりスポットの紹介

掛川を歩いて、歴史的文化資産と人々の営みの魅力を感じて、わたしたちの暮らしを豊かにしていくためにできること、これからのまちづくりについてちょっと考えてみませんか。

掛川城周辺の歴まちスポット



①季節毎に様々な姿を見せる掛川城下。
(左)掛川桜(見頃:3月頃)
(右)3万本のユリ(見頃:6月頃)



②鎌倉時代から続く日本三大古布の「葛布」。バック、小物からインテリアなど様々な製品に加工されています。



明治時代から続く老舗「桂花園」
③熱湯を注いで食べる葛湯は、自然な美味しさで心も身体もあたたまります。



④掛川古城跡には、三代將軍徳川家光の霊が祀られています。春には桜、秋には見事な紅葉が満喫できます。



⑤竹の丸は、葛布問屋を営んでいた松本家の本宅。四季折々の美しい庭園から掛川城を見ることができます。



⑥大日本報徳社には、6つの国県指定文化財の建造物と、珍しい大人の姿の金次郎像があります。

日坂宿周辺の歴まちスポット



⑦枕草子にも、願い事のまに叶うと記される「事任八幡宮」。今もパワースポットとして多くの方が参拝に訪れます。



⑧見晴らしのよい小夜の中山峠・公園から粟ヶ岳の茶文字や富士山も眺められます。



子育て飴

⑨「年たけて また越ゆべしと おもひきや いのちなりけり さやの中山」と西行法師が詠んだ小夜の中山峠。旧東海道で江戸時代から続く茶屋「扇屋」では昔ながらの子育て飴の優しい味を堪能できます。



高天神城周辺の歴まちスポット



⑩高天神城跡を囲む六砦のひとつ、小笠山からは市街地を一望できます。



⑪明治5年創業の土井酒造。高天神城の湧水で仕込まれた美酒を直接購入することもできます。



⑫「高天神を制するものは遠州を制する」といわれた高天神城。徳川と武田の攻防の地は静かに時を重ねています。

○徳川家康が築いた「高天神六砦」の包囲により、高天神城は孤立、激しい戦いの末に落城されました。

横須賀城周辺の歴まちスポット



○横須賀の「さしすせそ」。ここでは、基本調味料の砂糖、塩、酢、醤油、味噌が製造・販売されています。200年続く山中酒造も酒蔵を構えています。



⑬ソースは後がけの焼きそば。個性豊かな飲食店が並びます。



⑭明治時代から続く羊羹専門店。昔ながらの裸の姿で販売しています。



⑮ひとつずつ手作りされる菓菓子。建物の近くは甘い匂いが漂います。



⑯横須賀城は、徳川家康が大須賀氏に命じて築城しました。玉石積みの石垣が特徴的です。現在は「横須賀城跡」として国指定史跡になっています。



⑰春を告げる「三熊野神社大祭」は、桜が咲き乱れる横須賀街道で祢里と囃子と曳き手が一体になり見る者を魅了します。



⑱「ちっちゃん文化展」は横須賀街道の趣ある建物を使い町並み全体が会場になるアートイベントです。

平成30年1月

本計画のお問い合わせは、掛川市 都市建設部 都市政策課

〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1 TEL: 0537-21-1151